



ティワイシステム

1. 設定画面

Smileiを起動すると、まずこの設定画面が表示されます。



2. データベースへ接続

指定したファイルライブラリを選択して、データベースへの接続を行ないます。



3. 基本画面

基本の画面について説明します

各項目については、それぞれの章の説明をご覧ください。







5. 表示項目の選択

選択したテーブルの中から表示したい項目を選択します。

※ここで表示項目の選択をしなかった場合、テーブルの項目全てが選択されたとみなされます。

選択したテーブルの項目が一覧で表示されますので、その中から表示した項目を選んでください。

6. 抽出条件の設定

選択したテーブルから表示したいデータの抽出条件を設定します

6-1.項目の選択を行ないます。

6-2. 条件式の設定を行ないます。

6-3. 値の入力を行ないます。

Smile i (Ver.1.70.6068.19287)	値を入力して、抽出条件は完了です
Smile i 🕑 🖊	
接続LIB SMALIB ▼ 接続 102-1111-2111 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22	左記の例では、選択した項目は「伝票日付」、条件 式は「次の値以上」、値は「20150101」ですので、完 成した抽出条件は、「伝票日付が20150101以降」 のデータが抽出される事になります。
条件001 通常入力 V DUR_1.URYMD 選択 次の値以上 V + 20150101	
	ランポイント
	<u>複数の条件を設定できます</u>
全条件クリア タブ条件クリア SQL文作成 実行 終了	データを抽出する上で、複数の条件で絞り込 む必要がある場合があります。 その場合でも、条件を追加して設定する事が できます

7.ソート順の設定

データを表示する際どのような順番に値を並び替え(ソート)して表示するかを設定します。

8. 定義の読込・保存

ここまで設定した定義を保存したり、保存した定義を読み込んだりします。

8-1. 定義の保存

8-2. 定義の読込み

9. データの表示

ここまで設定した定義を実行して、データを表示します。

10. 応用編

複数ファイルの結合

これまでの説明は一つのファイルに対しての設定、条件設定でしたが、応用編として複数ファイルの使用法について説明します。

例えば、売上データに担当者コードは持っているが、担当者名は担当者マスタにしか持っていない、 といった場合、出力結果に担当者コードに担当者名を付けて出力する事ができます。

それがファイルの結合です。

売上データ

<u>担当者マスタ</u>

レコードNo.	行No.	担当者コード	伝票日付	•••			
126263	1	5	20071015	• • •			
129914	1	2	20071220	• • •			
137514	3	10	20080624	• • •			
:	:	:	:				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							

担当者コード	カナ	担当者名	
0		その他	
1	スズキ	鈴木	
2	<u> </u>	田中	
3	ለሳ	伊藤	
4	ハヤシ	林	
5	ナカシマ	中島	
10	かり	加藤	
<u>†</u>			

キー項目となる「担当者コード」を結びつけます。

それによって、出力結果に担当者名を付ける事ができるのです。

<u>出力結果</u>

レコードNo.	行No.	担当者コード	担当者名	伝票日付	• • •
126263	1	5	中島	20071015	• • •
129914	1	2	田中	20071220	•••
137514	3	10	加藤	20080624	•••
:	:	:	:	:	

10-1.結合ファイルの設定

10-2.結合条件の設定 次にどの項目で結合させるかの設定を行ないます。

ここでは、主ファイル(売上データ)がテーブルA、結合ファイル(担当者マスタ)がテーブルBとなります。

Smile i (Ver.1.70.6068.19287)	
Smile i 🙂	
接続LIB SMALTR X 接待 100-100-100	
入力モード 取 通常入力 ○直接入力 正 義 読 込 定 義 読 込 定 義 読 込 テーブル選択 表示項目選択 抽出条件	結合条件に追加されました 結合条件を削除したい場合には、左にある「削除」をクリックしてください
テ し ブ ル 選 択 TableID TableName 結合方法 ジー 0UR_1 売上データ × ガレ 選 れ MTN_1 担当者マスタ 外部総合 ×	
育順除 結合条件 資源除 DUR_1.URTNCO = MTN_1.TNCODE	Smile i (Ver.1.70.6068.19287)
合 条 件 設 定	Smile i 🕑
	接続LIB SMALIB v 接続 102-11#1-1-211 記 設定
全条件クリア タブ条件クリア SOL文作成 実行 終了	入力モード ● 通常入力 ○直接入力 定 義 読 込 定 義 保 存
	テーブル選択 表示項目選択 抽出条件 ソート順
	表 示 項 目 設 定 表示順更新
	表示順 ケーブル2 項目10 表示項目名 Type ヘ 17 170 DUB 1 高レデータ UBSUR 動量 DECIMAL 面IR全
結合条件の設定が終わったら、「表示項目選択タブ」をクリッ・	クし 18 180 DUR_1 売上データ URTAN 売上単価 DECIMAL 削除
てみましょう	19 130 DUR_1 売上データ URKIN 売上金額 DECIMAL 削除
	20 200 DUR_1 売上データ URJUNU 受けNo. CHAR 割原 21 210 DUR 1 売上データ IRTEKT 搭車 CHAR 副原金
	22 220 DUR_1 売上データ URWRT 作成日 DECIMAL 可除
	23 230 DUR_1 売上データ URUPD 更新日 DECIMAL 削除
	24 240 MTN_1 担当者マスタ TNC00E 担当者コード NUMERIC 削除 25 250 MTN_1 担当者マスタ TNC00E 担当者マスタ TNC00E 担当者マスタ
	C0 C
不要な項目は削除したり、項目の順番を並び替えて出力イメ	ジ 27 270 MTN_1 担当者マスタ TNDECO 所属コード NUMERIC 削除
を整えてください	28 280 MTN_1 担当者マスタ TNWRT 作成日 DECIMAL 削除
	23 230 MTN_1 担当者マスタ TNUPD 更新日 DECIMAL 削除 V
	全条件クリア タブ条件クリア SOL文作成 実行 終了

Smile i (Ver.1.70.6068.19287)									
Smile 1 ④		ここで 動させ	は、担当 t、その他	省マス	スタの担当 当者マス	当者名を タの項目	、担当者には不要な	コードのす こので削除	「ぐ後ろに移 涂しました
38H+L1D ▼ 1780元 入力モード									
 ● 通常入力 ○ 直接入力 定義保存 									
テーブル選択 表示項目選択 抽出条件 ソート順									
表示項目設定 表示順更新									
表示順 テーブルID テーブル名 項目ID 表示項目名 Type ^									
1 010 DUR_1 売上データ URNBR レコードNo. NUMERAC 削除 2 020 DUR 1 売上データ URXYD 行No. NUMERAC 削除									
2 0.60 DUN_1 SELY S ONNIO INMA 3 030 DUR 1 売上データ URINCD 担当者コード NUMERIC 副版金		「実行	をクリッ	っして	出力結果	果をみてる	みましょう		
▶ 4 040 MTN_1 担当者マスタ TNNAME 担当者名 CHAR 削除									
5 050 DUR_1 売上データ URYMD 伝票日付 NUMERIC 削除 8 000 DUR 1 売上データ UR7000 得音先コード NUMERIC 削除									
7 070 DUR_1 売上データ URKBN 伝票区分 NUMERIC 削除									
8 080 DUR_1 売上データ URKJCD 工場コード NUMERIC 削除									
9 090 DUR_1 売上データ URGBNM 現場名 CHAR 削除									
10 100 DUR_1 売上データ URSECD 商品コード CHAR 創除 11 110 DUR_1 声上データ URSECM 日々 CHAR 創除									
12 120 DUR_1 売上データ URSEN2 品名2 CHAR 削除					*	結果			- • ×
13 130 DUR_1 売上データ URTANI 単位 NUMERIC 引続		レコードNo	行No 相	日当者コード	相当者名	伝璽日付	得意先コード	伝璽区分 丁	場コード 現場: ヘ
	▶ 1	126263	1	5	中島	20071015	1481	0	0 シティ亀田
	2	129914	1	2	田中	20071220	1483	0	0 赤坂
全条件クリア タラ条件クリア SQL文作成 実行 終了	3	137514	3	0	- <u>力D</u> 藤	20080624	1485	0	0 吉田キャン
	5	138637	1	6	高橋	20000027	1485	0	0 ホリデース:
		138637	2	6	高橋	20080724	1485	0	0 ホリデース:
	N T	138759	1	1	鈴木	20080728	1485	0	0 浜松市
		138759	2	1	茆 木 鈴木	20080728	1485	0	0 浜松市
	10	138759	5	1	鈴木	20080728	1485	0	0 浜松市
	11	138759	6	1	鈴木	20080728	1485	0	0 浜松市
	12	138760	2	1	鈴木	20080728	1485	0	0 浜松市
	14	138760	7	1	鈴木	20080728	1403	0	0 浜松市
	15	138761	3	1	鈴木	20080728	1485	0	0 浜松市
	16	138762	4		鈴木	20080728	1485	0	0 浜松市
	17	138762	5		苏木 鈴木	20080728	1485	0	0 浜松市
	19	138975		6	高橋	20080801	1485	0	0 池袋
田当老コードの構に田当老をが追加されました	þ	138975	2	6	高橋	20080801	1485	0	0 池袋
	1	138975	- 3	6	高橋	20080801	1485	0	0 池袋
担当者コード=15は担当者マスタに登録されていませんので	S	138975	6	6	高橋	20080801 20080801	1485	0	0 池袋
担当者名は空欄になっています	1	138975	7	6	高橋	20080801	1485	0	0 池袋
	5	138976	1	6	高橋	20080801	1485	0	0 池袋
		138976	2	6	高橋	20080801	1485	0	0池袋
	97	139076	2	3	12.1 <u>2</u>	2008001	1/105		SHOLS
	< 97	370991	۹ 	6		20080801	1495		>

以上で、Smileiの操作説明を終わります。

説明を省略しましたが、SQLの知識があれば更に使用の幅が広がると思います。

色々な使い方を試して、是非、業務にお役立てください。

